

令和6年度

事業計画

社会福祉法人 三川町社会福祉協議会

令和6年度社会福祉法人三川町社会福祉協議会事業計画

1. 基本方針

近年の社会状況は、人口減少と少子高齢化の進展により世帯構成は変化し、単身世帯や高齢者世帯の増加は、家族機能の低下、地域や組織での人と人とのつながりの希薄化を招き、生活困窮や、ひきこもり等の社会的孤立など、多様化、深刻化した様々な課題につながっています。また、高齢の親と無職の子ども同居世帯が抱える問題（「8050問題」）や、介護と子育ての時期を同時に迎える世帯が直面する問題（「ダブルケア」）、18歳未満の子どもが家族の介護やケアや身の回りの世話を担う問題（「ヤングケアラー」）等、これまでの地域福祉の仕組みでは、対応出来ない課題も多くなってきております。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年を目前に控え、高齢化に伴う、多くの社会課題との関連にも注視していく必要があります。

国においては、「地域共生社会」の実現のため、地域包括ケアシステムや生活困窮者の自立支援など、重層的に連動した「包括的支援体制」の整備が進められています。

本会としては、第4期「三川町地域福祉活動計画」と連動し、令和6年度においても、引続き、計画に掲げた取り組みを着実に推進することを基本に、計画のテーマである「住み慣れた地域で生きいきと健康で安心して暮らし続けられるまちづくり」の実現に向けて、住民の主体的な参加と、行政及び福祉員、民生委員・児童委員などの福祉関係者、団体、関連機関、ボランティア等との連携・協働のもと、人と人がつながる支え合いづくりの取り組みを推進し展開していきます。

また、生活困窮者や低所得者世帯、高齢者や障害者の地域での生活を支えるため、相談支援体制の充実と各関係機関との連携を図るとともに、生活福祉資金貸付事業、基幹的社会福祉協議会としての日常生活自立支援事業の効果的な取り組みを進め、社会的弱者のみならず地域住民の交流や、地域の様々な団体の繋がりの中核としての機能を強め、住民の多様な課題に包括的に対応するよう引き続き努めていきます。

同時に、これらの事業を推進するために、社会福祉法人として財政基盤の安定を保ちながら、事務事業の見直しや適切な施設管理に努め、事業展開を図っていきます。

2. 重点項目

- (1) 地域での見守り・支え合い活動の推進
- (2) 相談・支援体制の強化
- (3) 法人及び社会福祉センター運営の充実

3. 基本計画

- 1 法人の運営、基盤強化
- 2 地域福祉推進事業の展開
- 3 在宅福祉サービスの展開
- 4 障害児・者への支援事業の展開
- 5 生活支援活動の展開
- 6 共同募金活動の展開
- 7 施設の適切な管理

4. 事業実施計画

1. 法人の運営、基盤強化に関する事業

社会福祉法人としての公共性に鑑み、社会福祉法人三川町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うため、行政や関係機関との連絡・調整を図り、適切な法人運営を推進する。

事業	実施計画	事業内容
1. 理事会の開催	通年	業務の決定及び当面の課題について審議し、その企画、立案を行う。
2. 評議員会の開催	通年	法人運営、業務執行に係わる事項及び基本の方針について審議決定を行うとともに、事後的な監督を行う。
3. 監査会の開催	通年	法人運営、業務の進行状況並びに財産の状況等について監査を行う。
4. 会計事務実施指導	通年	会計事務所による会計実務に関する指導を受け、会計処理等適正化を図る。
5. 専門部会の開催	通年	社協事業の運営強化を図る。
6. 財政基盤の確立	通年	公的財源及び民間財源等の開拓と確保 三川町等公的機関からの業務を委託料で受託するとともに、住民等からの会費、賛助会費及び寄付金等の協力を広く求めることにより財源の確保を図る。
7. 広報活動の推進	通年	広く町民にわかりやすく社協活動の周知ができるように広報「ふれあい」を発行する。
8. ホームページの充実	通年	ホームページの内容の充実を図り、最新の情報を発信する。
9. 各種研修会への参加	通年	役職員の更なる資質の向上を図るため、各種研修会へ積極的に参加する。
10. 社会福祉関係者の表彰等	通年	社会福祉事業関係者、理事、評議員の表彰等を行う。
11. 職員の福利厚生	通年	職員の福利厚生を行う。
12. 共同募金運動等の協力	通年	助け合いの精神のもと、共同募金運動に積極的に協力する。(募金活動等)

2. 地域福祉推進に関する事業

(1) 地域ネットワーク活動の展開

地域における人々の共同体（コミュニティ）が、より一層機能的な活動として展開できる地域ネットワークを構築できるよう、各種事業を展開する。

事業	実施計画	事業内容
1. 小地域ネットワークの整備・維持	通 年	近隣ネットワークによる一人暮らし高齢者や高齢者世帯、要援護世帯への見守り活動を行う。
2. 福祉員の設置	通 年	地域支え合い活動の推進を目的に町内会長に福祉員を委嘱し、地域見守りネットワークの構築を図る。
3. 福祉員研修会	年 2 回	福祉員と民生児童委員協議会との合同研修会を実施し、情報交換や地域ニーズの把握を行う。
4. 要援護者世帯「福祉マップ」の整備	民生委員児童委員改選期の11月までに1回	一人暮らし高齢者や障害者世帯に関する「福祉マップ」を更新する。 【共募配分金】
5. 緊急連絡先カードの整備	通 年	一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障害者等要援護世帯の支援に関する「緊急連絡先カード」を整備し、有事の際の適切な対応を図る。 【共募配分金】
6. サロン実施町内会施設整備補助事業	通 年	サロン事業を実施するための各町内会で管理運営する施設の環境整備の一環として、補助金を交付する。 (費用総額の2分の1、上限5万円) 【共募配分金】

(2) ボランティア活動・地域福祉啓発活動の推進

ボランティアセンターとしての機能の充実と強化を図るため、ボランティア団体への活動支援等の事務局機能を維持し、環境整備を進め、相談窓口としての機能を継続する。また、ボランティア活動についての啓発普及活動を行うとともに、地域福祉についての気づきの場を提供し、町民が積極的に地域活動に参加できるよう情報を発信する。

事業	実施計画	事業内容
1. ボランティアセンター機能の充実	通 年	ボランティア活動相談窓口と環境整備の充実 各種ボランティア活動参加申込みに対して、適切な連絡調整を図る。また、ボランティアルームの環境を整備し、ボランティア団体が活動しやすいように支援する。 【共募配分金】
2. 地域福祉啓発活動の充実	年 2 回	「ふるさと少年教室」の開催 小学生を対象に、老ク連やボランティアの方々の協力を得ながら、高齢者とのふれ合いや、福祉に関して学習する機会を提供する。 【共募配分金】
	通 年	地域福祉のための機会づくり 中学生が福祉センターに集う機会を設定し、地域の中での社会福祉協議会の活動や地域でのボランティア活動に触れる機会を通して地域福祉についての意識付けをする。 【共募配分金】

	年1回	赤い羽根共同募金街頭募金活動への協力 イオン三川店での街頭募金活動 (小学3年生～6年生) 【共募配分金】
3. 環境づくりの推進	随時	福祉センター「子ども広場」の遊具の設置と点検 生徒児童がのびのび遊べる環境整備のために、必要 な貸出遊具の点検整備を図る。 【共募配分金】

(3) 関連機関と連携した福祉活動支援

地域福祉の充実を図るためには、町民の主体的、自主的な運営による組織的福祉活動が不可欠であることから、これら各種団体や組織に対する情報提供や事務的支援を展開することにより、福祉関係団体等の活動の充実を図る。

計 画 項 目	事 業 内 容 等
1. 福祉団体の育成支援	福祉関係団体の活動支援（事務局として支援） 1. 三川町民生児童委員協議会 2. 三川町老人クラブ連合会 3. 三川町遺族会 4. 三川町身体障害者福祉協会 5. 三川町ボランティア連絡協議会 6. 三川町手をつなぐ育成会 7. 三川町母子寡婦福祉会 8. 三川町赤十字奉仕団つくしの会

3. 在宅福祉サービス事業

(1) 高齢者在宅福祉事業の展開

高齢化が進展する状況において、より健やかで安心した生活を維持できるよう、見守り活動や健康保持に関する指導機会の提供など、各種事業を展開する。

事 業	実施計画	事 業 内 容 等
1. 一人暮らし高齢者会食交流会	年8回	外出機会の提供と食事会を通じての一人暮らし高齢者の交流を図る。食事の調理や交流会の運営主体は、民生児童委員協議会厚生部が実施する。
2. 移動サービス	通 年	一人暮らし高齢者、障害者等通院の困難な方に対し、ボランティアによる移動サービスを実施し、通院の利便性を図る。 【共募配分金】
3. 地域支え合い体制づくり事業（除雪）	12月 ～3月	日頃からの近隣同士の見守り意識の高揚を図るとともに、特に降雪期における一人暮らし高齢者等の支援策として「冬期間見守り援助活動事業実施要綱」を設定し、三川町シルバー人材センターへの業務委託により除雪体制を構築する。
4. 高齢者生きがい支援活動	通 年	単位老人クラブやサロン等での研修会等の講師派遣の一部助成を行う。上限1万円 【共募配分金】

5. 筋力トレーニング教室の開催	年 24 回	<p>「はつらつ」コース 開催日時：毎月第1・3水曜日 講師：佐藤しおり氏 運動強度：積極的に体を動かし、筋力アップを目指す。</p> <p>「しなやか」コース 開催日時：毎月第1・3金曜日 講師：萩原恵美氏 運動強度：適度な強度の運動で、ケガをしないしなやかな体をつくる。</p> <p>「ときめき」コース 開催日時：毎月第1・3水曜日 講師：飯野 隆氏 運動強度：正しいストレッチングや体幹を鍛えながら、認知機能の低下を予防する。</p> <p>「ゆったり」コース 開催日時：毎月第2・4水曜日 講師：飯野 隆氏 運動強度：ゆったりと体を動かしながら、無理なく運動習慣を身に付ける。</p> <p>各コース参加者に対し、筋力測定等でトレーニングの効果を実感できる機会も設定し、継続的な参加を促す。 【受託事業】</p>
6. 楽しく貯筋塾	6 回コース × 2クール	<p>生活機能低下防止のため、運動機能向上事業の補完事業として、ボランティアの協力を得ながら実施する。 【受託事業】</p>
7. 配食サービス事業	年 24 回	<p>ふれあい弁当調理・配達サービス事業 月 2 回、調理ボランティアの手づくり弁当を配達ボランティアが対象者（一人暮らし高齢者世帯等）の安否確認を行いながら配達する。 【共募配分金】</p>
8. ミニサロン開催事業	各カ所で 開催	<p>高齢者を対象として、居住地域内にある身近な施設を利用した「サロン」を開設することによって、閉じこもりがちな高齢者の社会参加や相互交流を図ることを目的として、その「サロン」に活動費を助成する。 【共募配分金】</p>
9. 福祉・介護機器貸与事業	通 年	<p>介護等のために必要な機器（車いす）を貸与する事業で、原則として、介護保険制度適用者以外を対象とする。</p>
10. 地域福祉事業	通年 ・ 随時	<p>フードドライブ・フードパントリーの実施 福祉センターでは通年、役場等では随時、また、地域の商業施設と提携し、食糧品や生活用品の確保をボランティアの協力を得て実施し、支援の必要な世帯へ、集めた物資の配布を行う。</p>
	年 2 回	<p>地域食堂 地域のボランティアの力をお借りして、生活困窮者等への食の提供を通し、支援窓口としての機能を充実させ、継続的な繋がりを確保する。</p>

4. 障害児・者への支援事業の展開

障害児・者の社会参加の促進とその家族が安心して生活できるように、相談、情報提供を行う。

計画項目	実施計画	事業内容等
障害児・者の生活支援事業	通年	障害児・者やその家族から寄せられる相談内容に応じて、必要な関係機関への連絡とともに連携を図ることにより、相談者への効果的な情報提供を行う。 【共募配分金】

5. 生活支援活動の展開

町民にもっとも身近な相談機関として、各種法律相談のほか生計維持のための福祉資金の貸付相談や権利擁護のための相談の機会を確保し、三川町地域包括支援センターと協力した支援活動などを展開する。

計画項目	実施計画	事業内容等
1. 総合相談事業	通年	心配ごと相談所の開設 職員を相談員とし、日常生活における心配ごとや困りごと全般に関する相談に対応する。 相談内容を特定し、専門職を招聘しての相談日を、年間4回計画する。
2. 生活支援体制整備事業	通年	三川町地域包括支援センターと連携し、地域において、住民が主体となって多様なボランティアに取り組むことが出来るよう支え合いの体制整備に努める。
3. 日常生活自立支援事業	通年	福祉サービス利用援助事業 基幹的社協として、高齢者や障害者等の日常生活の判断能力が不十分な方が自立した生活を送るため、生活支援員を配置し金銭管理等の支援を行う。 生活支援員2名 専門員2名【県社協受託事業】
4. 福祉資金貸付事業	通年	山形県生活福祉資金貸付事業 低所得世帯等の経済的自立と生活安定に資するため、県社協生活福祉資金の貸付相談と申請業務を行う。 【県社協受託事業】
	通年	三川町福祉資金貸付事業 低所得世帯等の経済的自立と生活安定に資するため、町社協生活福祉資金の貸付相談や申請業務等を行う。
5. 行路人支援事業	通年	行路人支援金の貸付 隣接市町までの交通費として、1回500円を限度として支援金を貸付する。 【共募配分金】

6. 共同募金活動の展開

寄付する行為をボランティア活動のひとつとして、その意義の重要性について理解を求めつつ各募金活動を通じて民間福祉活動の財源確保に努める。

計 画 項 目	事 業 内 容 等	
1. 赤い羽根共同募金	<p>山形県共同募金会から配分を受ける財源については、次の事業に充当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 広報活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報「ふれあい」の発行 ・ ホームページの運営 (2) 福祉教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふるさと少年教室」の開催 (3) ボランティアセンター機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動相談窓口の強化 (4) 地域ネットワーク活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡先カード整備事業 (5) 高齢者在宅福祉事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動サービス ・ 自立支援見守りサービス ・ 高齢者生きがい支援活動 ・ 配食サービス事業 ・ ミニサロン開催事業 ・ サロン実施町内会施設整備補助事業 (6) 障害児・者への支援事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児・者の生活支援 (7) 福祉活動団体等への支援 (8) 生活支援活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行路人支援金の貸付 <p style="text-align: right;">※再掲</p>	
2. 歳末たすけあい募金	通 年	<p>歳末たすけあい募金の実施</p> <p>年未年始の時期に、安心して生活できるように町民等からの募金活動を行い、配分委員会を開催し対象世帯や地域福祉活動事業への配分を実施する。</p>
3. 災害等避難所環境整備	通 年	<p>災害時避難所としての環境整備</p> <p>生活環境整備のため、簡易暖房機等、生活に必要な物品の確保を行い、万が一の事態へ備えを充実させる。</p>

7. 施設の適正管理

町民の社会福祉の拠点として、福祉の増進を図るため、複合利用施設として、関係機関や団体と連携し事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用できるように施設運営を行う。

計 画 項 目	実施計画	事 業 内 容 等
1. 施設の適正管理	通 年	<p>福祉センターの適正な管理運営</p> <p>福祉活動の拠点として、また健診や会議等での施設使用が円滑かつ適正に行えるように、貸出基準の運用、貸出時間の厳守に努める。</p> <p>管理業務を三川町シルバー人材センターに委託し、人材を確保する。</p>

2. 施設の改修事業	通 年	<p>福祉センター改修事業</p> <p>老朽化対策としての改修や利便性向上を図るための施設改修を、計画的に推進する。</p>
3. 緊急時対策・災害時対策	通 年	<p>消防計画に基づく避難訓練の実施。(年2回)</p> <p>危機管理マニュアルを整備し、緊急事態にも対応できるように進める。また、その際に、社協所有の自家発電機の動作確認も行い、災害時等の非常時に備える訓練を行う。</p>